

作業所日記

内堀 真樹子

以前は内職が特別忙しいと「今日は、内職祭りだ！」言っていた事がありました。でも今は毎日が内職祭りです。いや、その頃に比べるとありがたいことに内職の量がとても増えました。時々行っていた箱折りも、最近は毎日行っています。メンバーは手元を見ていなくても綺麗に折っていたり、綺麗に積み重ねていたり、とても手際が良いです。私も箱折りを一緒に行っていて、折りづらい時はメンバーの折り方をまねて折ると、綺麗に折れることが多いです。箱によっては中に複雑な形の仕切りを折って入れたり、大きな箱の中にさらに小箱を折って入れたりするものもあります。最近はとても大きな箱に10個以上の仕切りをそれぞれに折って、それを組んでセットする作業をしています。仕切りのサイズや数も多いので1箱の中身を組むのが一苦労です。見本を見ながら、え〜とこれがこっちで・・・と組んでいくのですが、特に内藤さんは手早く仕切りを組んでセットしてくれます。1度用意スタートで一緒に仕切りを組み立てたことがありましたが、圧倒的に内藤さんのほうが早く、そして綺麗に仕上げていました。

箱にお茶や海苔などの中身を詰める作業では、詰める前に箱の表にシールを貼るものがあります。幸坂さんはとても綺麗にしかも素早く貼ってくれます。仕上がりはまるで印刷したようです。松村さん・大久保さんも丁寧にシール貼りをしてくれます。箱を折る作業は青木さん・清水さんや白井さん達が折ってくれます。お茶の箱詰めはダントツ鄭さんが早いです。作業をしながらもダンボールやごみをさっさと片づけてくれます。以前からずっと行っている紅茶の袋詰めはみなさんとでもきれいにできるようになりました。特に宮島さんは、1箱仕上げるのがとても速くそしてきれいです。その他にもお茶を小箱に詰める作業も多くのメンバーでできるので、みんなで分担して行っています。今作業所日記を書いてあらためて思ったことは、内職の仕事が増えたことはもちろんですが、何よりもメンバーが以前よりも「行える作業」が多くなったことです。最初はできなかったとしても、少しずつですが前進して行って、みなさんできることが多くなったと思います。努力の結果ですよね。だからこそ内職の仕事が増えたのだと思います。

木箱も新たにギンナンの注文が毎月1,000個以上入るようになり、村田さんを筆頭に箱作りを頑張っています。時にサイズの違うギンナンの発注でも、手際よく作ってくれます。村田さんは、材料がなくなりつつあると、職員に声をかけてくれたり、片づけも釘を丁寧に分けたり、木箱や道具の整理整頓をきちんと行ってしてくれます。他のメンバーが使った道具まで片づけています。内職が忙しい時は木箱を中断して内職を手伝ってもくれます。月に1回行われる職場会議では、仕事のことや身の周りの持ち物・作業時に使うカップなど、毎日行っている中で良い方法があればいろいろな提案をしてくれ、とてもありがたい限りです。桑原さんも「はい！頑張ります。」と張り切ってギンナンを作っていました。

今年もあと2か月です。年末が近づいてくるにつれ、内職も一層忙しくなっているでしょう。ちらほらインフルエンザも流行りだしましたが、みなさん体調には気を付けて、お仕事頑張りましょう(^_^)

